



新年を迎えて ～自信をもって一歩ずつ～



園長 原田幸子

2022年が始まりました。開園15周年も残すところ3か月となり、3学期は周年記念誌の発行と共に、江戸太神楽鑑賞、お話会、サッカー教室、囲碁教室、体操教室などの楽しい行事を計画しています。一人一人の思い出に残る15周年として、締めくりたいと思います。

12月に4歳児クラス、5歳児クラスで行なった「こどもの森コンサート」では、子どもたちは緊張しながらも、保護者の方に見ていただくことを楽しみにして、はりきって歌と合奏ができました。4歳児クラスは、子どもたちの演奏終了後に、保護者の方にお子さんの楽器を演奏していただいたことも、ご家庭での楽しい話題になったようです。「お母さん上手だったと言ってもらいました」「親にとっても楽しい体験でした」というご感想をいただきました。5歳児クラスは、歌は学級ごと、合奏は学年全体での活動で、集団の中でしっかりと自分の役割を意識して演奏する姿からお子さんの成長を実感していただくことができました。「家に帰ってから、緊張したけどがんばってできたと言っていました」「この経験が自信につながったようです」というご感想をいただきました。乳児クラスもリハーサルでは、お兄さんお姉さんの演奏を聞いて楽しむことができました。

先日、全国国公立幼稚園・こども園長会の機関誌の記事を作成するために、東京オリンピックの柔道金メダリスト、ウルフアロン選手にインタビューする機会がありました。ウルフ選手は、「オリンピック前の数か月間は、とても緊張したけれど、緊張から逃げるのではなく、その状態を受け入れて試合に臨んだことで、自分に勝つことができました」とお話ししてくださいました。子どもたちにとっても、大きな行事は緊張や照れなどがありますが、「がんばってできた」と自分なりに感じ、周りの大人にそのがんばりを認めてもらうことで、「次もがんばろう」という意欲や「自分ができる」という自己肯定感につながっていきます。

幼児期は、「自分はこれでいいんだ」と思えるようにしたり、自信をもって主体的に取り組んだり、失敗してもあきらめずに繰り返し挑戦したりする意欲や態度を育てていくことが大切です。また、「自分は大切にされている」と感じることができる子どもは、相手も大切にすることができます。「自分も好き。友達も好き」と思えることが、社会性の育ちにつながります。

幼稚園評価では、お子さんの成長を喜びご意見をたくさんいただきました。保護者の方々に支えられていることのありがたさを実感しました。今年も園と家庭で力を合わせ、世界に羽ばたく子どもたちを育ててまいりましょう。これまでの本園の歴史をつなぎながら、職員一丸となって保育の充実に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。